



八重高だより

No16 2025 年 11 月 14 日 校長 大城まち子

校 訓

学徳・進取・雄飛



石垣島未来シンポジウム ～高校生と考える島の未来～への参加

11月9日(日)石垣市民会館で文部科学省科学研究費助成事業「水共生学プロジェクト」の一環として「石垣島未来シンポジウム」が行われました。水を取りまく環境・生物・人が共生する持続可能な社会実現を目指す取り組みです。午前は持続可能な農業の実現に向けた研究で国際農林水産業研究センター、宇都宮大、九州大、東京大、愛媛大学の先生方からの研究報告、午後からは未来ワークショップと題して、高校生の研究報告とパネルディスカッションが行われました。

研究報告の中では本校の5グループ、1個人「石垣島の漂着ゴミ問題」「鳩間島のヤシガニについて」「石垣島の環境政策：自然の権利はみとめられるか」「石垣島の環境問題について」「外来種」が環境に与える影響」「非常食を美味しく進化させる」の報告が行われ、その報告に対して、東京大学、九州大学をはじめとする各大学の先生方、そして環境省、石垣市の行政の方方からのご意見を頂きました。中には、専門家ならではの厳しいご意見もありましたが、本校生の研究の一つ一つに丁寧に助言と感想を頂きました。

石垣島だからできる研究に「環境問題という困難な問題を高校生が研究し、そして楽しん

でいる、素晴らしい事です」と九州大学の荒谷先生から感想を頂きました。中でも石垣島の漂着ゴミ問題に取り組んだグループは、漂着ゴミの国別の区分や、そのゴミで作成したハロウィーンの衣装を紹介し注目を浴びていました。

また、パネルディスカッションでは「守りたい!石垣島の宝物達～天然記念物とロードキル」「地域ぐるみの水環境教育」「マングローブ」「観光と環境の両立」「子ども大使(名蔵アンパル子供大使)」「ネイチャー」ポジティブを達成するためには」の発表がなされ、パネラーの皆さんからご意見を頂き、議論が交わされました。本校発表の皆さんも臆することなく意見を述べ、大変貴重な時間となりました。これらの研究は総合探求の時間で取り組まれてるもので、今月末に行われる発表会(11/29)、また来月予定している市民会館(12/18)での発表会が今から楽しみです。

第2部:未来ワークショップ

〈八重山高校 高校生グループ報告〉

「石垣島の漂着ゴミ問題」	仲松優香・岩室凜夏・仲辻杜宇子・増田ひまり・宮良ひなた
「鳩間島のヤシガニについて」	西原智章
「石垣島の環境政策：自然の権利は認められるか」	高原真直・前原心愛・宮城浩碧
「石垣島の環境問題について」	柴田悠・金田八咲
「外来種が環境に与える影響」	浦添昂・萩原璃乃・佐伯文香・高橋悠
「非常食を美味しく進化させる」	漢那愛華・新本柚月・儀間琴音

〈パネルディスカッション〉

パネルディスカッション登壇者一覧: 荒谷邦雄(九州大学)・小原聡(東京大学)・近藤千尋(環境省)・石垣市

[八重山高校生徒]小野心春・西野まなつ・高原真直・前原心愛・来間あや・北越春乃